

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	1121
-----------	-----------	------

事務事業名	市道安全・快適化事業(緊急雇用創出事業)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡寛明	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 21 年度 ~ 平成 21 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	391801
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	市道安全・快適化事業(緊急雇用創出事業)	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路維持費	市道安全・快適化事業(緊急雇用創出事業)	

3. 事務事業の概要

事業概要
緊急雇用創出事業臨時特例交付金を活用し、街路樹剪定作業を実施します。

めざす効果(事業目的)
非正規労働者や失業者に対して、次の雇用までの短期雇用、就業機会を創出し生活の安定を図る。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・名張青蓮寺線街路樹剪定作業委託		補助金・交付金		
			その他 ()		
	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)		
事業費 (千円)	5,700				
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金	3289			
	地方債				
	その他()				
	一般財源	2,411			
人 工 数	職員(人)	0.10			
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)	730				
総費用 + (千円)	6,430				

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標	実績						
目標	実績						
目標	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか <input type="text"/>	協働等の主な相手先について <input type="text"/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text"/>	協働等の今後の取組について <input type="text"/>

	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text"/>	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text"/>	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text"/>	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text"/>	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) <input type="text"/>	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など <input type="text"/>	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など <input type="text"/>	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	4013	(H.22)No.	4019
-----------	------	-----------	------

事務事業名		交通安全施設整備事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		山岡寛明	63-7681
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	391001
一般会計		(中事業名)	
款	土木費	交通安全施設整備事業	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	交通安全施設費	交通安全施設整備事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・安全で快適な通行を確保するために、道路反射鏡・防護柵・区画線等の交通安全施設を整備します。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>交通安全施設の整備により、安全な道路環境の形成に努めます。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)							
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)					
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	<table border="1"> <tr> <td>市が直接実施</td> </tr> <tr> <td>業務委託(全部・一部)により実施</td> </tr> <tr> <td>指定管理</td> </tr> <tr> <td>補助金・交付金</td> </tr> <tr> <td>その他 ()</td> </tr> </table>			市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ()
	市が直接実施									
業務委託(全部・一部)により実施										
指定管理										
補助金・交付金										
その他 ()										
	<ul style="list-style-type: none"> 道路反射鏡 設置18基 補修12基 防護柵 設置44m 補修13m 区画線 設置1635m 補修3285m 街路灯 設置13基 	<ul style="list-style-type: none"> 道路反射鏡 設置11基 防護柵 設置40m 区画線 補修3000m 街路灯 設置11基 その他緊急補修は随時 	<ul style="list-style-type: none"> 道路反射鏡の設置、補修 区画線及び防護柵等の設置、補修 	<ul style="list-style-type: none"> 道路反射鏡の設置、補修 区画線及び防護柵等の設置、補修 	<ul style="list-style-type: none"> 道路反射鏡の設置、補修 区画線及び防護柵等の設置、補修 					
事業費 (千円)	8,220	8,000	10,000	10,000	10,000					
の 財 源 内 訳	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他(繰入金)	1,800	4,000	4,000	4,000	4,000				
一般財源	6,420	4,000	6,000	6,000	6,000					
人工 数	職員(人)	0.15	0.20	0.20	0.20	0.20				
	臨時職員等(人)									
人件費 (千円)	1,095	1,460	1,460	1,460	1,460					
総費用 + (千円)	9,315	9,460	11,460	11,460	11,460					

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	件	-	-	-	-	410
	実績		432	429			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、安全な交通環境を確保するため交通安全施設の整備を進めます。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財政状況の中で、緊急性や地域性を総合的に考慮した適切な整備を進めていく。	高齢化が進み、交通事故件数も減らない現状の中で、交通安全施設整備の要望は多い。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
地元要望やパトロールによる緊急補修が随時発生するため、財源は少ないが効率的かつ計画的に進めていく。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	4020	(H.22)No.	4025
-----------	------	-----------	------

事務事業名	一般市道舗装事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡寛明	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	395001
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	一般市道舗装事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路舗装費	一般市道舗装事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
生活道路の安全性向上を図るため、計画的かつ効率的に道路舗装を進めていきます。	

めざす効果(事業目的)
路面補修により、通行の安全確保に努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)		平成22年度 (計画・6月補正後予算)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		[]		
主な事業の実績・計画	[平成20年度繰越] ・市道舗装補修工事 15件 ・緊急補修工事 59件		[平成21年度] ・市道舗装補修工事 2件 ・緊急補修工事 62件		[平成22年度] ・市道舗装補修工事 17件 ・緊急補修工事 随時		
	< H22年度への繰越明許費 38,000千円 >						
	事業費 (千円)	(29,999) 16,991	10,000		50,000	50,000	50,000
	の財源内訳	国庫支出金 (29,167)	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
	一般財源 (832)	12,491	5,500	45,500	45,500	45,500	
人工数	職員(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	臨時職員等(人)						
人件費 (千円)	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	
総費用 + (千円)	(29,999) 20,641	13,650	53,650	53,650	53,650	53,650	

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと 感じている市民の割合	%	-	-	-	-
	実績			47.5	46.0		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		引き続き、安全な交通環境を確保するため既存道路の舗装工事を進めます。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財政状況の中で、緊急性や地域性を総合的に考慮した適切な舗装工事が必要。	市民生活に最も密着した生活道路であるため、高齢者や障害者等、誰もが安心して通行できる道路が求められている。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)		
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
		備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。		
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である		
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ)	特記事項
(1)短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2)継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
既存道路の現状把握を行い、計画的な舗装工事や緊急的な舗装補修を実施していく。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	4026
-----------	-----------	------

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡寛明	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	395201
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路舗装費	社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)	

3. 事務事業の概要

事業概要
社会資本整備総合交付金事業を活用し、既存道路の安全性向上を図るため、計画的な舗装工事を実施します。 平成22年度から4ヵ年をかけて市道北部中央線の舗装工事を、また平成23年度から3ヵ年をかけて池之谷中央線の舗装工事を実施します。

めざす効果(事業目的)
生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
		・市道北部中央線舗装補修工事	・市道北部中央線舗装補修工事	・市道北部中央線舗装補修工事	・市道北部中央線舗装補修工事
		・市道池ノ谷中央線舗装補修工事	・市道池ノ谷中央線舗装補修工事	・市道池ノ谷中央線舗装補修工事	・市道池ノ谷中央線舗装補修工事
事業費 (千円)		10,000	26,000	35,000	40,000
の 財 源 内 訳	国庫支出金	5,500	14,300	19,250	22,000
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	4,500	11,700	15,750	18,000	
人 工 数	職員(人)	0.15	0.20	0.30	0.30
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)		1,095	1,460	2,190	2,190
総費用 + (千円)		11,095	27,460	37,190	42,190

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合	%	-	-	-	-
	実績			47.5	46.0		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		引き続き、安全な交通環境を確保するため既存道路の整備を進めます。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財政状況の中で交付金を有効に活用し、幹線道路についての緊急性を考慮した適切な整備が必要。	市民生活に最も密着した生活道路であるため、高齢者や障害者等、誰もが安心して通行できる道路が求められている。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組 ('新しい公'の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ)	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 国の事業の動向を注視し、国費を有効に活用できるよう幹線道路の整備計画を検討する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	4027
-----------	-----------	------

事務事業名	地域連携道路交付金事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡寛明	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 21 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	395101
一般会計	(中事業名)	
款	土木費	地域連携道路交付金事業
項	道路橋梁費	(小事業名)
目	道路舗装費	地域連携道路交付金事業

3. 事務事業の概要

事業概要
地域連携道路交付金事業を活用し、既存道路の安全性向上を図るため、計画的な舗装工事を実施します。

めざす効果(事業目的)
生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	地域連携道路交付金事業 ・市道八幡工業団地3号線道路舗装補修工事 ・市道桔梗が丘西中央線道路舗装補修工事	社会資本整備総合交付金事業に移行	補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度(計画)	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)
事業費 (千円)	20,003				
の財源内訳	国庫支出金	10,000			
	県支出金				
	地方債	10,000			
	その他()				
人工数	職員(人)	0.08			
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)	584				
総費用 + (千円)	20,587				

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標	実績						
目標	実績						
目標	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか	協働等の主な相手先について
<input type="text"/>	<input type="text"/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について
<input type="text"/>	<input type="text"/>

	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか	
<input type="text"/>	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか	
<input type="text"/>	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか	
<input type="text"/>	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか	
<input type="text"/>	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
<input type="text"/>	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
<input type="text"/>	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
<input type="text"/>	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	4028
-----------	-----------	------

事務事業名	第8号都市下水路整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡寛明	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 22 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	2	治山・治水対策
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	400601
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	第8号都市下水路整備事業	
項 河川費	(小事業名)	
目 河川維持費	第8号都市下水路整備事業	

3. 事務事業の概要

事業概要
老朽箇所を改良し、名張川まで適切に流下できるよう実施します。

めざす効果(事業目的)
円滑な流れにより、安全に名張川に放流させる。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の 実績・計画		・8号都市下水路改修工事	補助金・交付金		
			その他 ()		
	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)		
事業費 (千円)		11,000			
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債		11,000		
	その他() 一般財源				
人 工 数	職員(人)	0.15			
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)		1,095			
総費用 + (千円)		12,095			

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標	実績						
目標	実績						
目標	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼

	備考欄
(2) 現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 平成22年度事業完了 ▼	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	4030
-----------	-----------	------

事務事業名	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡寛明	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	4	水と緑のまちづくり
	小施策	1	緑豊かなまちづくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	412201
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	
項 都市計画費	(小事業名)	
目 公園管理費	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	

3. 事務事業の概要

事業概要
都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業を活用して平成22年度から4ヵ年をかけて計画的に都市公園施設(71箇所)の老朽化した遊具の更新を実施します。

めざす効果(事業目的)
市民が自由に憩いの場として利用できるよう、安全な都市公園の形成に努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画		豊後町公園・桔梗が丘1号公園・桔梗が丘2号公園・桔梗が丘4号公園・桔梗が丘9号公園・前山公園・東山公園の遊具の更新(滑り台、シーソー、ジャングルジム、複合遊具等)	桔梗が丘8号公園・富貴ヶ丘1号公園・美旗1号公園・南西原2号公園・緑ヶ丘1号公園・さつき台1号公園外20公園の遊具の更新(滑り台、ジャングルジ	池の台1号公園 外15公園	鴻之台1号公園 外21公園
事業費 (千円)		32,000	30,000	30,000	30,000
の 財 源 内 訳	国庫支出金	16,000	15,000	15,000	15,000
	県支出金				
	地方債	16,000	15,000	15,000	15,000
	その他() 一般財源				
人工数	職員(人)	0.25	0.30	0.30	0.30
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)		1,825	2,190	2,190	2,190
総費用 + (千円)		33,825	32,190	32,190	32,190

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	74.0
	実績		70.8	72.2			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、安全な公園施設の形成に努めます。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
市民が自由に憩いの場、交流の場として利用できるよう、安心して安全な公園が必要。	屋外での遊び場が少ない状況の中で、身近な公園利用が望まれている。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼
備考欄	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 補助制度の活用について研究していく。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	4062
-----------	-----------	------

事務事業名	現年補助災害復旧事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡寛明	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 21 年度 ~ 平成 22 年度	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	1	災害に強いまちづくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	561501
一般会計	(中事業名)	
款	災害復旧費	現年補助災害復旧事業
項	土木施設災害復旧費	(小事業名)
目	土木施設災害復旧費	現年補助災害復旧事業

3. 事務事業の概要

事業概要
災害発生箇所の復旧を行います。

めざす効果(事業目的)
二次災害の防止、今後の防災に努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	H21年度災害測量設計業務委託9件のうち ・道路施設災害 3件 ・河川施設災害 5件 < H22年度への繰越明許費 48,000千円 >	H21年度発生災害13件のうち (H21年度発注繰越分) ・道路施設災害 5件 (H22年度発注分) ・道路施設災害 3件 ・河川施設災害 5件	補助金・交付金	その他 ()	
	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)		
事業費 (千円)	3,928				
の 財 源 内 訳	国庫支出金	941			
	県支出金				
	地方債	400			
	その他() 一般財源	2,587			
人工数	職員(人)	0.52			
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)	3,796				
総費用 + (千円)	7,724				

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	安心して暮らし続けることができる住環境にあると感じている市民の割合	%	-	-	-	-
	実績			58.9	64.2		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(^)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 継続実施
	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 平成22年度事業完了	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	4063
-----------	-----------	------

事務事業名	土木施設災害応急復旧事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡寛明	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 年度 ~ 平成 年度	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	1	災害に強いまちづくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	560501
一般会計	(中事業名)	
款	災害復旧費	土木施設災害応急復旧事業
項	土木施設災害復旧費	(小事業名)
目	土木施設災害復旧費	土木施設災害応急復旧事業

3. 事務事業の概要

事業概要
災害発生箇所の応急復旧を行います。

めざす効果(事業目的)
道路通行を可能にし、二次災害の防止に努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	・台風等の災害による応急復旧作業(市道等への倒木の撤去及び崩落土砂の撤去作業等)30件 ・小規模災害復旧工事(土止め工、土のう積み工、ブロック積み工等)28件	・台風等の災害による応急復旧作業	補助金・交付金	その他 ()		
			平成23年度(計画)	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	
事業費(千円)	9,462	500	500	500	500	
の 財 源 内 訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()					
一般財源	9,462	500	500	500	500	
人工数	職員(人)	0.37	0.03	0.03	0.03	0.03
	臨時職員等(人)					
人件費(千円)	2,701	219	219	219	219	
総費用+(千円)	12,163	719	719	719	719	

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	62.0
	実績		58.9	64.2			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している(へ) ▼	協働等の主な相手先について その他団体(へ) ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託 [業務量の50%以上相当] (へ) ▼	協働等の今後の取組について 継続実施 ▼
	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 災害の発生予測は困難であるため、発生に備えての準備を整えておく必要がある。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	5023
-----------	-----------	------

事務事業名	駐車場管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	1	交通対策
	小施策	2	交通対策の充実
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	381501
一般会計	(中事業名)	
款	土木費	駐車場管理費
項	土木管理費	(小事業名)
目	駐車場管理費	駐車場管理費

3. 事務事業の概要

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 市街地における自動車の駐車需要に応じ、道路交通の円滑化を図り、市民の利便に資するために設置。 	
収容台数	
<ul style="list-style-type: none"> 名張市営栄町駐車場:自動車39台 単車52台 自転車80台 名張市営名張駅西駐車場:自動車10台 名張市営桔梗が丘駅南駐車場:自動車12台 	

めざす効果(事業目的)
<ul style="list-style-type: none"> 栄町駐車場 平成21年5月から料金を改定し、周知されてきたことから今後ますます鉄道や周辺施設利用者の利便に資する。 名張駅西駐車場、桔梗が丘駅南駐車場 駅周辺の活性化及び路上駐車を無くすことにより道路交通の円滑化を図り、利用者の利便に資する。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	委託料 7,211千円 工事費 713千円 需用費 598千円 その他 149千円	委託料 7,200千円 需用費 735千円 役務費 68千円	補助金・交付金		
			その他 ()		
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
事業費 (千円)	8,671	8,003	7,900	7,900	7,900
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他(使用料)	8,671	8,003	7,900	7,900
一般財源					
人工数	職員(人) 0.19 臨時職員等(人) 0.02	職員(人) 0.19	0.18	0.18	0.18
人件費 (千円)	1,421	1,387	1,314	1,314	1,314
総費用 + (千円)	10,092	9,390	9,214	9,214	9,214

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	%	-	-	-	-	41.0
	実績		39.4	40.4			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・栄町駐車場は、利用についての周知、啓発を図るとともに適正な経営を行っていきます。 ・名張駅西・桔梗が丘駅南駐車場は路上駐車を無くす為、引き続き経営を行っていきます。 	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 一部実践している(^)	協働等の主な相手先について 市民公益活動団体等(^)	指定管理等の方法により、より市民の利便性に貢献できると考える。
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託 [業務量の50%未満相当] (^)	協働等の今後の取組について 拡大推進	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	利用促進のため、啓発を行っていく。	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(事務改善)(今後の展開方法 (1)・(2)へ)	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など 事務の工夫・改善に努めるとともに、指定管理者等への管理運営等の移行を検討する。	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 公営駐車場の重要性を考え、適切な運営管理を行っていく。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.		(H.22)No.	5024
-----------	--	-----------	------

事務事業名		駐輪場管理費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	1	交通対策
	小施策	2	交通対策の充実
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	383101
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	駐輪場管理費	
項 土木管理費	(小事業名)	
目 交通対策費	駐輪場管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車の駐車需要に応じ、道路交通の円滑化を図り、市民の利便に資するために設置。 ・ 名張市営美旗駅自転車駐車場: 収容台数 西側(自転車287台 原動機付自転車55台) 東側(自転車142台 原動機付自転車40台) 	

めざす効果(事業目的)
<p>駅周辺における自転車等の放置を防止することにより、通行機能を確保し、市民生活の安全を図るとともに、良好な都市環境を保持する。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	委託料 2,237千円 土地借料 1,014千円 需用費 333千円 その他 129千円	委託料 2,374千円 土地借料 1,014千円 需用費 540千円 役務費 50千円	補助金・交付金	その他 ()	
	事業費 (千円)	3,713	3,978	平成23年度(計画)	平成24年度(計画)
の財源内訳			駐輪場運營業務委託料・土地借料・施設用備品購入費・需用費・役務費	駐輪場運營業務委託料・土地借料・施設用備品購入費・需用費・役務費	駐輪場運營業務委託料・土地借料・施設用備品購入費・需用費・役務費
国庫支出金			3,900	3,900	3,900
県支出金			0	0	0
地方債			0	0	0
その他(使用料)	3,713	3,978	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
人工数			0.05	0.05	0.05
職員(人)	0.19	0.19			
臨時職員等(人)	0.02				
人件費 (千円)	1,421	1,387	365	365	365
総費用 + (千円)	5,134	5,365	4,265	4,265	4,265

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	放置自転車等の台数(年間)	-	-	-	-	198
	実績		209	129			
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・特に駅周辺の放置自転車を無くす為、引き続き駐輪場の経営を継続する。 ・民間活力を活用し、指定管理者制度等への移行を検討。 	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある(^)	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等(^)	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託 [業務量の50%以上相当] (^)	協働等の今後の取組について 今後、取組予定	
(2) 現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	指定管理制度等、実施手法の変更により成果向上が見込める。	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	利用促進のため、啓発を行っていく。	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(事務改善)(今後の展開方法 (1)・(2))	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など 事務の工夫・改善に努めるとともに、指定管理者等への管理運営等の移行を検討する。	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 公営駐車場の重要性を考え、適切な運営管理を行っていく。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	5025
-----------	-----------	------

事務事業名		道路維持費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		山岡寛明	63-7681
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	391501
一般会計		(中事業名)	
款	土木費	道路維持費	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	道路維持費	道路維持費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
生活道路の安全性向上を図るため、適切な維持管理を進めます。	

めざす効果(事業目的)	
生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
		[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施
主な事業の実績・計画	・H21現年分 市道除草作業委託:79路線 街路樹剪定作業委託:24件 地域等への委託:27件 (除草、剪定) 市道緊急補修工事:172件 道路施設修繕:61件 側溝清掃等:9件 雪氷対策 年間施設維持管理業務等 <H22年度への繰越明許費 20,701千円>	市道除草作業委託:16,500千円 街路樹剪定作業委託:7,500千円 地域等への委託:5,500千円 (除草、剪定) 市道緊急補修工事:随時 道路施設修繕:随時 側溝清掃等:随時 雪氷対策 年間施設維持管理業務等	補助金・交付金	その他 ()	
	事業費 (千円)	85,974	61,482	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)
の			市道除草委託	市道除草委託	市道除草委託
財			街路樹剪定委託	街路樹剪定委託	街路樹剪定委託
源			地域等への委託	地域等への委託	地域等への委託
内			(除草、剪定)	(除草、剪定)	(除草、剪定)
訳			市道緊急補修工事	市道緊急補修工事	市道緊急補修工事
			道路施設修繕	道路施設修繕	道路施設修繕
			側溝清掃等	側溝清掃等	側溝清掃等
			雪氷対策	雪氷対策	雪氷対策
			年間施設維持管理業務等	年間施設維持管理業務等	年間施設維持管理業務等
人			90,000	95,000	100,000
工					
数					
人					
件					
費					
(千円)					
総					
費					
用					
+					
(千円)					
	89,259	65,497	94,015	99,015	104,015

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと 感じている市民の割合	%		47.9	48.3	48.7	49.0
	実績			47.5	46.0			
	目標							
	実績							
考察及び今後の 対応方針	引き続き、生活道路等の維持管理を進めます。							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財政状況の中で、緊急性や地域性を総合的に考慮した適切な維持管理を進めていく。	高齢者が増える中、安心して通行できるよう、道路の補修、草刈等の要望が増加してきている。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している(へ) ▼	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等(へ) ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 補助・助成(へ) ▼	協働等の今後の取組について 拡大推進 ▼
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼	備考欄 地域団体等との協働を拡大推進
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
老朽化施設が増え、今後の財源確保について検討が必要。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	5026
-----------	-----------	------

事務事業名		橋梁維持費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		山岡寛明	63-7681
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	394501
一般会計		(中事業名)	
款	土木費	橋梁維持費	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	橋梁維持費	橋梁維持費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
生活道路の安全性向上を図るため、橋梁の適切な維持管理を進めます。	

めざす効果(事業目的)	
生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)		平成22年度 (計画・6月補正後予算)		現在の実施手法(複数選択可)		
	事業内容(事業量)・事業費		事業内容(事業量)・事業費		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	[平成20年度繰越] ・橋梁維持補修工事(高欄改良) 1件		・橋梁維持補修工事		補助金・交付金		
	[平成21年度] ・橋梁維持補修工事(橋梁拡幅) 1件					その他 ()	
事業費 (千円)	(4,072) 100	900	1,000	1,000	1,000	1,000	
の 財 源 内 訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
一般財源	(4,072) 100	900	1,000	1,000	1,000	1,000	
人工数	職員(人)	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	臨時職員等(人)						
人件費 (千円)	146	73	73	73	73	73	
総費用 + (千円)	(4,072) 246	973	1,073	1,073	1,073	1,073	

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと 感じている市民の割合	%	-	-	-	-
	実績			47.5	46.0		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		引き続き、安全な交通環境を確保するため橋梁の維持管理を進めます。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財政状況の中で、緊急性や地域性を総合的に考慮した適切な維持管理が必要。	市民生活に最も密着した生活道路であるため、高齢者や障害者等、誰もが安心して通行できる橋梁が求められている。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ)	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 今後は老朽化対策が必要となってくるため、長寿命化計画との整合を図りながら進めていく。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.		(H.22)No.	5028
-----------	--	-----------	------

事務事業名	水路河川維持費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡寛明	63-7681
新・継	事業期間		根拠法令等
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	2	治山・治水対策
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	400501
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	河川維持費	
項 河川費	(小事業名)	
目 河川維持費	水路河川維持費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
計画的に既存水路等の維持管理を行います。	

めざす効果(事業目的)
雨水排水が円滑に流下出来るように努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)		平成22年度 (計画・6月補正後予算)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]				
主な事業の実績・計画	< H20年度繰越 > ・築瀬水路改修工事 ・8号都市下水路布設替え工事		・築瀬水路浚渫作業委託 ・小規模補修工事		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
	< H21年度 > ・築瀬水路浚渫作業委託 ・築瀬水路改修工事外22件				平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
事業費 (千円)	(13,409)	19,904	10,700	10,000	10,000	10,000	
の 財 源 内 訳	国庫支出金	(7,778)					
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
一般財源	(5,631)	19,904	10,700	10,000	10,000	10,000	
人工数		0.25	0.15	0.15	0.15	0.15	
職員(人)		0.25	0.15	0.15	0.15	0.15	
臨時職員等(人)							
人件費 (千円)		1,825	1,095	1,095	1,095	1,095	
総費用 + (千円)	(13,409)	21,729	11,795	11,095	11,095	11,095	

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標							
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
水路等の老朽化が進んできている。	早期の改修が求められている。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼
備考欄	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 施設の老朽化が進んできているため、効率的な計画を検討する。	

(様式1)
事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(平成22年7月作成)

(H.21)No.		(H.22)No.	5029
-----------	--	-----------	------

事務事業名		調整池維持費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	2	治山・治水対策
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	400502
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	河川維持費	
項 河川費	(小事業名)	
目 河川維持費	調整池維持費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・住宅団地の開発により設置された調整池(36箇所)の機能確保のため、適切な維持管理を行います。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>調整池の維持管理をすることで、そこに住む人、下流に住む人が安心して暮らしていけるよう、下流河川への安全な放流をめざします。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	開発調整池維持管理等委託 開発調整池維持管理工事費	開発調整池維持管理等委託 開発調整池維持管理工事費	補助金・交付金	その他 ()		
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	
事業費 (千円)	4,043	4,860	4,600	4,600	4,600	
の 財 源 内 訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他(繰入金)	4,043	4,860	4,600	4,600	4,600
一般財源						
人 工 数	職員(人)	0.10	0.11	0.10	0.10	0.10
	臨時職員等(人)					
人件費 (千円)	730	803	730	730	730	
総費用 + (千円)	4,773	5,663	5,330	5,330	5,330	

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標	実績						
	実績						
目標	実績						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・老朽化により日常監視の強化に努める。	・草刈、浚渫が求められている。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある(^)	協働等の主な相手先について 現時点で、相手先は確定していない(^)
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託 [業務量の50%以上相当] (^)	協働等の今後の取組について 今後、取組予定

	備考欄
(2) 現在の事業費の範囲で効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	良好な環境を保つためにも、地域づくり組織等の協力等があれば望ましい。
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ)	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 現在、基金で対応しているが、今後は財源が必要となる。また、大きな改修や浚渫が必要となることから、計画的な実施を検討する。	

(様式1)
事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(平成22年7月作成)

(H.21)No.		(H.22)No.	5034
-----------	--	-----------	------

事務事業名	公園管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	4	水と緑のまちづくり
	小施策	1	緑豊かなまちづくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	412001
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	公園管理費	
項 都市計画費	(小事業名)	
目 公園管理費	公園管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要
・市民が憩える都市公園165箇所及び住宅団地内の緑地の維持管理を行います。

めざす効果(事業目的)
・住民が、美しい自然に包まれ、憩いと潤いのある、健康に暮らしていける空間づくりをめざします。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	・公園維持管理作業等委託料 44,545千円 ・公園維持補修等工事費 8,218千円 ・需用費、役務費、その他 < H22年度への繰越明許費工事請負費5,000千円 >	・公園維持管理作業等委託料 48,000千円 ・公園維持補修等工事費 8,500千円 ・需用費、役務費、その他	補助金・交付金	その他 ()		
	平成23年度(計画)	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)			
事業費 (千円)	58,725	57,623	57,000	57,000	57,000	
の財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()					
一般財源	58,725	57,623	57,000	57,000	57,000	
人工数	職員(人)	0.43	0.58	0.55	0.55	0.55
	臨時職員等(人)	0.01	0.35			
人件費 (千円)	3,156	4,829	4,015	4,015	4,015	
総費用 + (千円)	61,881	62,452	61,015	61,015	61,015	

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	70.8	69.4	72.8	73.4	74.0
	実績			70.8	72.2		
活動指標	目標	%	79.9	80.4	80.9	81.4	82.0
	実績			79.9			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		地域等との連携により引き続き適切な維持管理に努める。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・市民が自由に憩いの場、交流の場として利用できるように、地域の特性をいかした公園づくりが必要。	・草刈り、樹木の剪定等についての要望や遊具等の補修が求められている。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践している(^)	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等(^)
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託 [業務量の50%以上相当] (^)	協働等の今後の取組について 拡大推進

	備考欄
(2) 現在の事業費の範囲で効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	利用者の増加を図るため、補助事業を活用し遊具等の更新を実施する。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	国、県の動向を見据えながら、新規の補助事業等を模索する。
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	地域づくり組織等との連携を図る。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行どおり)(理由 (2) ^)	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
地域等への委託の継続、推進を図る。	

(様式1)
事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(平成22年7月作成)

(H.21)No.		(H.22)No.	6087
-----------	--	-----------	------

事務事業名 屋外広告物簡易除却事務費			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	2	都市環境
	小施策	2	景観形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	390502
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	道路橋梁総務費	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路橋梁総務費	屋外広告物簡易除却事務費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・三重県の事務処理の特例に関する条例に定める事務で、三重県屋外広告物条例に規定する物のうち、はり紙や管理されずに放置されていることが明らか な広告旗、立看板等の除却を行う。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>違法広告物を除去することにより、良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的とする。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
	・簡易除却事務	・簡易除却事務	補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
			・簡易除却事務	・簡易除却事務	・簡易除却事務
事業費 (千円)	0	45	45	45	45
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	0	45	45	45	45
人工 数	職員(人)	0.07	0.07	0.07	0.07
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)	511	511	511	511	511
総費用 + (千円)	511	556	556	556	556

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	%	-	-	-	-	69.0
	実績		65.5	71.8			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある(^)	協働等の主な相手先について 現時点で、相手先は確定していない(^)
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) その他(^)	協働等の今後の取組について 今後、取組予定

	備考欄
(2) 現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	良好な景観を保つためにも、地域づくり組織等の協力等があれば望ましい。
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	地域づくり組織等の協力等があれば望ましい。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2) ^)	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善などはり紙などはすぐに除却できるものもあり、地域づくり組織等の協力を得る方法を検討する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.		(H.22)No.	7003
-----------	--	-----------	------

事務事業名 東山墓園造成事業特別会計			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	4	斎場・墓地
	小施策	2	墓地
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード
東山墓園造成事業特別会計	(中事業名)
款	
項	(小事業名)
目	

3. 事務事業の概要

事業概要
<ul style="list-style-type: none"> ・全3,211区画の墓所、休憩施設、附属施設の維持管理 ・第4期工事で完成した482区画の年度計画による貸付事務

めざす効果(事業目的)
<ul style="list-style-type: none"> ・先祖を追想できる適切な環境を整備し、人生終焉の場所にふさわしい、尊厳さを備えた運営をめざします。 ・市街地に隣接する緑豊かな環境にある東山墓園において、静寂さや美観に配慮した施設管理を進め、隣接する保全林とともに市民が自然に親しみ、憩うことのできる施設をめざします。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
			補助金・交付金	その他 ()		
	・113区画の貸付	・墓所の貸付	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	
	・施設維持管理等委託料 ・施設営繕工事費 ・需用費 ・役務費 ・公債費	・施設維持管理等委託料 ・施設営繕工事費 ・需用費 ・役務費 ・公債費	・施設維持管理等委託・施設営繕工事費・需用費・役務費・公債費	・施設維持管理等委託・施設営繕工事費・需用費・役務費・公債費	・施設維持管理等委託・施設営繕工事費・需用費・役務費・公債費	
事業費 (千円)	81,842	83,700	66,600	63,800	42,000	
の 財 源 内 訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他(使用料等)	81,842	83,700	66,600	63,800	42,000
一般財源	(0)	0	0	0	0	
人工数	職員(人)	0.39	0.63	0.60	0.60	0.60
	臨時職員等(人)	0.25				
人件費 (千円)	(0) 3,272	4,599	4,380	4,380	4,380	
総費用 + (千円)	(0) 85,114	88,299	70,980	68,180	46,380	

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
成果指標	目標	先祖を追想できる適切な環境が整備されていると感じる市民の割合	%		48.1	48.7	49.3	50.0
	実績			47.1				
活動指標	目標	東山墓園墓所貸付率	%		88.7	92.5	96.3	100.0
	実績			84.9				
	目標							
	実績							
考察及び今後の対応方針		・適切な貸付計画をたてていく。 ・引き続き、事業を推進し、より良い施設・成果が得られるよう努める。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
適切な維持管理及び需要に合わせた貸付が必要。	・貸付募集や今後の造成計画についての問い合わせが多い。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある(^)	協働等の主な相手先について 現時点で、相手先は確定していない(^)
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託 [業務量の50%以上相当] (^)	協働等の今後の取組について 今後、取組予定

	備考欄
(2) 現在の事業費の範囲で効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	委託方法の検討
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(事務改善)(今後の展開方法 (1)・(2)へ)	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など 貸付計画の策定を行う。	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など ・指定管理制度等の検討を行う。	